

# 高校公民プリント（過去問類似）

## 青年期と現代社会 No.9

名前

得点

/9

**問1** 従来の絵画や彫刻が追求してきた視覚的な調和や美しさがなくとも、既製品をそのまま展示するなどの手法を通じて鑑賞者の思考を揺さぶり、心を動かすことができるという現代アートの先駆的な試みを行った、代表作『泉』で知られるフランス出身の芸術家は誰か。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. マグリット                      2. シャガール                      3. デュシャン                      4. ウォーホル

**問2** 現代社会の諸課題を多角的に分析する際、適切な図表の選択が求められる。例えば、個人の栄養素の摂取状況について、複数の栄養素の必要量（基準値）に対する実際の摂取割合や、その全体の均衡を視覚的に比較・把握するのに最も適した図表の名称を答えよ。 （2020年 全国公立入試 類似）

1. ヒストグラム                      2. レーダーチャート                      3. バブルチャート                      4. ドットプロット

**問3** コンピュータがプログラムに従って記号を処理しているだけで、人間のような主観的な「心」や「意識」を持って理解しているわけではないことを「中国語の部屋」と呼ばれる思考実験を用いて説明し、人工知能（AI）が真の意味で思考しているわけではないと主張したアメリカの哲学者は誰か。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. ポパー                      2. サール                      3. ライル                      4. デリダ

**問4** 青年期における自己同一性の確立をめぐり、社会的な義務や責任が一時的に猶予される期間の重要性を指摘し、この概念を提唱したアメリカの発達心理学者は誰か。 （2023年 全国公立入試 類似）

1. エリクソン                      2. オルポート                      3. レヴィン                      4. ハヴィガースト

**問5** 地球温暖化などの環境問題において、他者に危害を及ぼす温室効果ガスの排出行動を自制すべきであるという原則や、生じさせた被害に対して補償を行うべきであるという原則が議論されている。こうした倫理的要請を背景に、先進国と途上国の双方が温室効果ガスの削減目標を自主的に設定して取り組むことや、途上国への資金支援などが盛り込まれ、2015年の国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）で採択された、2020年以降の国際的な枠組みは何か。 （2022年 全国公立入試 類似）

1. パリ協定                      2. ラムサール条約                      3. バーゼル条約                      4. ワシントン条約

**問6** 人間のパーソナリティや能力の形成において、生まれ持った遺伝的資質と、育った家庭や学校などの環境的要因の双方が独立して存在するのではなく、互いに重なり合い、相互に作用することによって発達が規定されるとする、シュテルンが提唱した考え方を何というか。 （2020年 全国公立入試 類似）

1. 成熟説                      2. 環境説                      3. 輻輳説                      4. 遺伝説

**問7** 青年期を、社会的な責任や義務が一時的に猶予される「心理社会的モラトリアム」の時期と捉え、その期間中に青年が様々な社会的役割を試行錯誤しながら体験する「役割実験」を通じてアイデンティティを確立していくと主張した、アメリカの心理学者は誰か。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. ロジャーズ                      2. エリクソン                      3. ボウルビィ                      4. オルポート

**問8** 青年期には、他者と親密な関係を築きたいと強く望む一方で、お互いのプライバシーに踏み込みすぎて傷つけ合うことを恐れ、適切な距離を保てずに葛藤することがある。このような、他者への接近の欲求と傷つくことへの恐れとの間で揺れ動く青年期の心理的状況を、ある動物の寓話にたとえて何と呼ぶか。 （2014年 全国公立入試 類似）

1. アイデンティティの拡散                      2. スチューデント・アパシー                      3. ピーターパン・シンドローム                      4. ヤマアラシのジレンマ

**問9** 1990年代後半にイギリスで誕生し、分化した細胞の核を未受精卵に移植する技術によって、世界で初めて哺乳類の体細胞から作製されたクローン個体の名称を何というか。 （2012年 全国公立入試 類似）

1. クローン羊ドリー                      2. クローン豚ジーナ                      3. クローン羊ポリー                      4. クローン牛カガ

## 答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 3 デュシャン	20世紀初頭、従来の芸術概念を根底から覆す試みが現れた。彼は、男性用便器に署名を施しただけの作品『泉』を発表し、芸術作品における手仕事の価値や視覚的な美の絶対性を否定した。このような既製品を用いた表現は、作品そのものの美しさではなく、作品が提示する概念や問いかけによって鑑賞者の心を動かす現代アートの源流となった。
問2	答え 2 レーダーチャート	複数の項目における基準値に対する比率や、全体のバランスを視覚的に比較・表現する場合には、中心から放射状に伸びる軸を用いた図表が適している。これにより、どの項目が秀でており、どの項目が不足しているかを一目で把握することができる。
問3	答え 2 サール	ジョン・サールは、記号をルール（アルゴリズム）に従って処理するだけのコンピュータは、意味を理解しているわけではないと主張した。彼は、外部から見れば中国語を理解しているように見えても、内部の人間はマニュアルに従って記号を操作しているだけで意味を理解していない状況を示し、AIの「意識の不在」を論じた。
問4	答え 1 エリクソン	青年期の発達課題として自己同一性（アイデンティティ）の確立を挙げ、そのための準備期間として社会的責任や義務が猶予される「心理・社会的モラトリアム」を提唱したのは、アメリカの心理学者エリクソンである。彼は、人間が生涯を通じて発達するプロセスを8つの段階に分けたライフサイクル論を提唱したことで知られる。
問5	答え 1 パリ協定	温室効果ガスの排出抑制（危害回避の原則）や、被害に対する資金支援（補償の原則）といった気候変動における倫理的課題に対応するため、2015年のCOP21において、すべての国が参加する新たな枠組みとしてパリ協定が採択された。これは、先進国だけに削減義務を課した京都議定書とは異なり、発展途上国を含むすべての締約国が自主的な削減目標を提出し、対策を講じることを義務づけている。
問6	答え 3 輻輳説	人間の発達やパーソナリティ形成における遺伝と環境の関係性については、遺伝的要因を重視する説（成熟優位説など）と、環境的要因を重視する説（学習優位説など）が対立してきた。これに対し、ドイツの心理学者シュテルンは、遺伝的資質と環境的影響の双方が合流し、相互に作用し合うことで発達が遂げられるとするこの考え方を提唱した。
問7	答え 2 エリクソン	青年期の発達課題としてアイデンティティ（自己同一性）の確立を唱えた人物である。彼は、青年が社会的な責任を猶予されたモラトリアムの期間に、多様な役割を試行錯誤的に体験する「役割実験」を行うことが、自己理解と人格形成において極めて重要であると指摘した。
問8	答え 4 ヤマアラシのジレンマ	ドイツの哲学者ショーペンハウアーの寓話に由来し、青年期の対人関係における葛藤を表す言葉である。他者と親密になりたいという欲求（接近）と、近づきすぎて互いに傷つくことへの恐れとの間で生じる葛藤と、それによる適切な距離感の模索を象徴している。
問9	答え 1 クローン羊ドリー	1996年にイギリスで誕生したこの個体は、哺乳類の体細胞からでもクローンを作製できることを実証した。この成果は、将来的に拒絶反応のない移植用臓器の作製につながる可能性を示す一方で、ヒトへの応用に対する倫理的議論を急速に活発化させる契機となった。